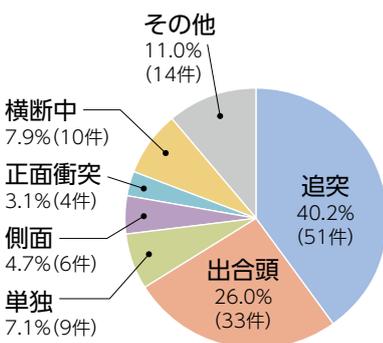


あなたの大切な人を 被害者にも加害者にも しないために ～交通事故0を目指して～

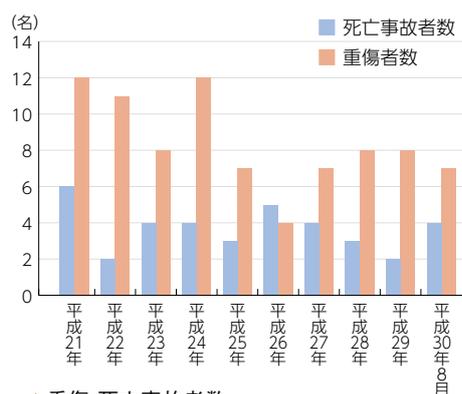
今年、本市の交通死亡事故発生件数が過去最悪のペースで推移しており、その全てで高齢者が被害者や加害者になっています。交通事故はいつあなたの身に起こるか分かりません。

今回は本市の現状と運転免許証自主返納制度について紹介します。

▶ 総務課 ☎23-3504



▲ 人身事故における事故類型の割合
※H30.1～8



▲ 重傷・死亡事故者数

◆ 交通死亡事故が増加中
今年に入ってから、8月末時点までに4件の交通死亡事故が発生し、4名の尊い命が失われました。昨年の交通死亡事故者は2名であり、既に2倍の犠牲者が出ています。交通死亡事故のペースとしては、直近10年で

一番多かった平成21年(年間6名)に並ぶものであり、大変危機的な状況です。

◆ 高齢者の死亡事故

今年起こった事故について、年齢別に子ども(15歳以下)・若者(16～24歳)・一般(25～64歳)・高齢者(65歳以上)に分けたとき、事故者数で見ると一般▽高齢者▽若者▽子どもとなりますが、重傷・死亡事故だけをクロージアアップすると、高齢者▽一般▽若者▽子どもとなります。この場合、高齢者は若者に比べ約4倍の犠牲者が出ています。これらの状況を受け、本市は愛知県警察と連携し、高齢者の運転免許証の自主返納を支援しています。

